

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1472000601
法人名	有限会社 共営
事業所名	グループホーム MOMO
訪問調査日	平成21年4月9日
評価確定日	平成21年5月7日
評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん 株式会社フィールズ

### 項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### 記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成 21年 4月 20日

## 【評価実施概要】

事業所番号	第1472000601号
法人名	有限会社 共営
事業所名	グループホーム MOMO
所在地	平塚市新町9-7 新町ビル1階 (電話) 0463-30-5006

評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん株式会社フィールズ		
所在地	藤沢市鵜沼橋1-2-4 クゲヌマファースト3F		
訪問調査日	平成21年4月9日	評価確定日	

【情報提供票より】(平成 21年 3月 2日事務所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 11月 1日			
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人	
職員数	12人	常勤 3人	非常勤 9人	常勤換算 5.3人

### (2) 建物概要

建物構造	(鉄筋)造り	
	3 階建ての	1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	68,000 円	その他の経費(月額)	77,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	500,000円	有りの場合 償却の有無	有(4年償却)	
食材料費(内訳)	朝食	400 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要 (3月2日 現在)

利用者人数	9 名	男性	名	女性	9 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 81 歳	最低	68 歳	最高	87 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	平塚診療所 八重咲診療所 湘南心のクリニック 湘南台中央デンタル
---------	----------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

オーナー兼施設長は明るくおらかで、入居者のアイドルです。ピンクを基本にした色使いで、玄関前の庭、館内ともメルヘンチックでほのぼの感があります。全室床暖房、給湯洗面台など設備が整っており、施設長のグループホームに対する心意気を感じられます。1ユニットで運営は厳しいと思いますが、2ユニットにして愛情が半分になるより、小人数で十分に愛情を注ぎたいという意思のもとに、スタッフは募集することなく集まります。施設では躊躇するお刺身も産地から直送で取り寄せたり、ひな祭りにはお雛様ご飯を作ったり、お正月はお節を作るなど、入居者への温かみを感じられます。職員専用の出入り口も見せてもらいましたが、裏に汚物処理用シンクを置き、汚物専用の洗濯機を置くなど、見えない部分も十分清潔で、入居者への心遣いを感じられました。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回、運営推進会議を定期的開催して、当ホームに関する意見交換を行い、サービス向上に向けてとありました。昨年度は2ヶ月に1度ずつ開催しました。実施してみると、集まる人も大変で、毎回変わった意見が出るわけではない、といったところです。行政は、制度のみを作るだけでなく、活用方法なども指導してほしいです。他地区ではどのように活用しているかなどの例もあけて、意義あるものになりたいという意向です。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は毎年同じ項目で、振り返りの機会にはなるものの、自己評価そのものにもさらなる工夫がほしいと思っています。スタッフは作業の合間に書くので実際には、記載する時間をかなり取られます。今回は常勤、夜勤職員が力を入れて取り組み、管理者がまとめました。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議で避難訓練のことも取り上げ、実際に体験してもらいました。入居者を外に出す大変さをわかってもらえるなど、良い機会にはなりました。2ヶ月に1度というのは、ホームにも出席者にも大変になってきてます。行政側からのご指導も頂戴したいと考えています。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族との連絡帳を作ったり、電話や面会時にお話しするなどは、まめにしています。当ホームでは、随時写真を撮って、ご本人がホームでどのような生活をしているかひとり人のアルバムに納めています。ご家族も、日常の生活が見られることで、不安を言ってくれることはありません。施設長、管理者ともに明るくて、言いやすい雰囲気です。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の公民館は、お話会、体操などで利用しています。食材は近くのお店に職員と入居者で買いに行くなど、地域にも親しまれてきました。玄関前の憩いの場でお茶を飲むと、通りがかりの人が声をかけてくれます。スタッフは近隣の人が多く、地域の情報も入りやすい環境です。ボランティアの人に地域から温かく見守ってもらえる環境です。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は、開設時にオーナーである施設長が作りました。健康と生きがい、個性性を尊重したケアをするなどの理念が玄関、リビング、事務所に掲げられています。地域交流は実際には行われていますが、言葉としては掲げられていないので、近いうちに地域交流を理念に盛り込む予定です。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は月に1度のミーティング時には、理念を振り返る話をスタッフにしています。ミーティングの欠席者に理念が染みとおるような工夫を考えています。古いスタッフは、常に理念を頭において、入居者に接しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会には参加しており、お花見やお祭りのおみこし見物に参加しています。公民館で催すお話し会や、体操に入居者も一緒に行きます。道路際の庭(玄関前のベンチで花に囲まれている)でお茶を飲むと、ご近所の方も声をかけてくれます。今後は保育園との交流を心がけていきたいと思います。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	常勤者、夜勤者には評価項目を早めに渡して書いてもらい、他のスタッフは2人組、3人組で書き、管理者がまとめました。昨年の結果の改善項目には、全員で取り組みました。今年の結果は、運営推進会議でも発表します。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度開催しています。出席者、話し合いの内容など記録もあり、災害時についての話し合いなどもあります。2ヶ月に1度は、出席者の負担も多いので、今後は年に3回くらいの間隔で、課題をしぼっていきます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市から委託された介護相談員が毎月2名きています。入居者は、しっかり話を聞いてくれると喜んでます。介護相談員をどう活用していくかの指導も行政から得たいと考えています。グループホームの空き情報は、市に提出しています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族と本人の交換日記があります。家族が来たときに、他の家族に伝言を書いたり、他の家族がいつ面会に来たのか、など家族間に役立っています。他に個別の連絡帳があり、スタッフから家族に伝えたいことを記しています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族からの苦情はなく、みなさん喜んでます。当ホームでは写真を随時撮っていて、ご家族にも見てもらいます。亡くなった方のお葬式で、ホームでの笑顔の写真がたくさん飾ってあり、来場者が「こんなにいい笑顔で暮らしていたの」と安心してもらえました。ご家族も喜んでくれました。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフの離職は少なく、離職する場合も入居者に混乱はありません。夜勤職員は夜勤専門のような体制になっていますが、日中職員との連絡を密にして、いままでには混乱はありません。スタッフが急に休んだときには、施設長がシフトに入り、明るさを盛り上げています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は経験者が多く、中途採用の職員もすぐに現場に入れます。外部研修はスタッフ間に知らせがあり、出席しています。レポートを提出し、スタッフ間に回して知識を共有しています。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームの連絡協議会には管理者が行き、他のグループホームの情報を得ています。本年はグループホーム同士の交換研修も行っていくつもりです。スタッフが他のホームを見る機会を増やしたいと前向きです。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>体験入居をしています。ほとんどの人が体験入居から入居という形になっています。体験入居は、本人の意見のほか、今までの入居者の意見も参考にして、なじみやすい雰囲気を作っています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>洋裁が好きな方や編み物が好きな方がいて、出来上がりをスタッフと喜び合っています。植木鉢に花を植えたり、新しい入居者が入ったときには「顔」をパンで焼き、本人とともに喜びます。肉じゃがの上手な入居者は、最初から仕上げまでしてくれて、みんなでおいしくいただいています。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>外出の好きな方が多く、ドライブは人気があります。不公平にならないよう、外出ノートをつくり、順番であることを確認してもらっています。糖尿病の人のカロリー制限で食事を減らしたことがあるのですが、本人が不満を持ち、家族との話し合いでみなさんと同じようにしました。お誕生会はそれぞれの希望で外食、手品を見るなど個々に対応しています。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>カンファレンスでスタッフから意見を吸い上げ、ケアマネジャーが作ります。暴言が出てきた人に対する対応策を考えたり、家族にも相談し、記録してあります。介護度が進むことなく、かえって良くなっている人がいます。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>2ヶ月ごと、6ヶ月ごとに書きかえていますが、その他に全員分を毎月見直しています。ケアマネジャーも現場に入り、状態把握をしています。ユニークな介護計画書で、スタッフ、ケアマネジャーの工夫が見られ、各自の状態がよくわかるようになっていきます。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院は、原則家族が連れ添って行きますが、都合のつかない時には職員が同行しています。家族に相談して訪問マッサージを手配し、週に2～3回来てもらっています。利用者はリハビリに懸命に取り組んでいます。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療は、内科と歯科が月に2回、精神科が月に1回来ています。利用者全員がこの訪問医にかかっていますが、診療外の耳鼻科に利用者が通っています。健康診断は、できるだけ利用者と家族の会う機会を増やす意味から、家族に同行をお願いしています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	緊急マニュアルを整備して、事業所の職員は看取りをする心構えですが、最終的に家族は病院を選んでおり、今までに看取りの事例はありません。家族と終末期の協定を締結しているグループホームもあることから、締結している協定内容を参考にしたいと考えています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の呼び方は家族と相談をして、本人が分かりやすい呼称に決めています。また家族の面会時には、利用者の部屋に入ってもらって、プライバシーが漏れないようにしています。利用者の個人情報は、鍵の掛かるキャビネットに閉まってあります。ボランティアとは守秘義務の文書を取り交わしています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎週木曜日はレクリエーションの日と決めており、利用者も朝から楽しみに準備をしています。調査訪問時も、美術の教師をしていた職員の手ほどきで、紙工作をしていました。居間には利用者の作品が飾ってあります。音楽が好きな利用者多く、音楽テープを流しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の献立は配食業者に頼らず職員が決められています。調査訪問時も小田原の鮮魚店から週1回、新鮮な魚が届いており、それを早速刺身にして、お昼のおかずにしていました。外食は2ヶ月に1度ぐらいを目途にしています。誕生会は利用者の好きなものを中心に料理を作っています。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週に2～3回入ってもらっています。身体的に入るのが大変な人は、職員が2人付き添って支援しています。浴室には入浴カードが貼ってあり、自分の好きなカードを貼っています。入浴剤にこだわり、菖蒲湯、ゆず湯を楽しんでいます。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自立度の高い利用者が多く、自分専用の雑巾を使って、自分の部屋を掃除します。食器洗い、食事の準備、あるいは木曜日のレクリエーションまで、自分の役割、楽しみごとを見つけて、楽しんでいます。買い物も職員と一緒にドライブを兼ねて行きます。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	出来るだけ天気の良い日には外出を心がけています。介護タクシーを利用して、遠出をすることもあります。散歩は近くの公園に出かけたり、歩いてお薬をとりに行く、野菜を買いに行くなど、こまめに外出しています。玄関前の憩いのベンチで外気浴するときもあります。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	建物の前面道路はバス通りになっており比較的交通量が多いため、家族の承諾を得て日中も施錠をしており、家族、外部の関係者は、インターホンで玄関扉の開け閉めをしています。玄関扉と門扉とのスペースに、ガーデンテーブル、椅子、季節の草花が飾られ、天気の良い日には利用者が外気浴をすることもあります。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	少なくとも半年に1回は避難訓練をしており、前回も前触れもせず急に訓練を行い、全員外に出て玄関前の椅子に無事座ることが出来ました。事務室に防災頭巾が用意され、利用者には常に枕元に置いておくように指導していますが、前回の訓練の際にはあまり徹底されていませんでした。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者はほとんどの方が自立をしています。食事摂取量、水分摂取量はチェック表を付けており、一目で分かるようになっていました。特に水分は、シャーベット、ゼリー等で確保しています。去年も栄養士に献立メニューをみてもらい、栄養のバランス等に問題がないかを確認してもらいました。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	音に注意をしています。利用者は音楽好きな人が多く、よく音楽テープやピアノの自動演奏が流れています。居間兼食堂には、利用者の作品が飾られ、またソファが何箇所か置かれ、その上にはぬいぐるみも置いてあります。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	割と広めに部屋が作ってあります。洗面化粧台、収納が常備されており、床は床暖房になっています。使い慣れた家具、生活用品等思い思いの物が持ち込まれています。		



# 自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## 記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目( 1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目( 88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム MOMO
(ユニット名)	
所在地 (県・市町村名)	神奈川県平塚市新町9 - 7 新町ビル1階
記入者名 (管理者)	原 美佐子
記入日	平成 21年 2月 20日

# 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

↑  取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>開設以来 健康と生きがい対策 個別性を尊重したケアをリネンとし、多種多様な、地域のボランティアの参加、協力を得て、利用者を支援して行きます。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>職員全員にコピーした物を渡し、日々意識しながら話し合う場を持ち、個別対応の重要性等、常に実践が理念に基づいた物になるように、取り組んでいます。.</p>	<p>利用者様が人として、尊厳のある生き方を、終わりまで続けられるように、サービスを提供して行きます。</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>ご家族様の訪問も多く、外泊、外食等楽しみにしています。</p>	<p>目に見えない部分で、支えになって下さるご家族様に、感謝の思いを伝える様にしたいです。</p>
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>買物や散歩時には、積極的に挨拶をし、声かけをしています。ユニホームとなっています。ピンクのエプロンも目立ち、トレードマークとなっています。</p>	<p>散歩を兼ねたお宅訪問も、これからしたいです。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>自治会との交流も良好で、毎月15日の行事に参加、お互いに楽しみにしています。ホーム行事等にも、積極的に参加して頂けるように、日頃より交流を深めるよう心がけています。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	平塚市の介護相談員2名の受け入れを行い、情報交換を行っています。良きアドバイスを受ける事も、多々あります。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価表を早めに頂く事で、職員全員に時間をかけて作成する事が出来、意識と理解の取り組みを共有しています。前回の評価を見直し、日々業務に生かしています。		自己評価、外部評価で、当施設の弱点が認識され、スタッフそれぞれの知恵、変化を見出して行きたいです。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	改善すべき点を留意していきます。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	文面では、中々理解できない事も、利用者様の必要性を感じ、実際、一つひとつ説明を受け、学びとる事が出来ました。		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	講習後、ミーティングでの報告、話し合いを重ね、虐待防止の意志向上に努めています。		問題の発生や、存在に気を払います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>双方合意の上、成立しています。</p>		<p>疑問が生じた場合、その都度回答に応じてます。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>			<p>親しみが持てる間柄になっています。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>暮らしぶりは、一ヶ月ごとに、「こんな事ありました」で、具体的に伝えていきます。その他、ケアプランと共に出納帳にて、一ヶ月分のお小遣いの確認、又内科受診にての報告書も送っています。</p>		<p>個人別にアルバムを作成し、ご家族様の来訪時に、見ていただき、様子を知らせています。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>相談や苦情を受けいれるホーム側の窓口を明確に表示し、利用方法も文書、口頭で伝えていきます。気軽に相談に乗る事が出来るよう、積極的に話しかけています。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に一度ミーティングで意見交換を、行なっています。不参加の職員にも、事前に申し送りノートを作成し、全員参加を心がけています。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>行事等の予定を考慮しながら、ローテーションを組み、調整に努めています。</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職も少なく、信頼関係を築いています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<b>職員を育てる取り組み</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	意識付けに、注意を払っています。	情報収集に力を入れていきます。
20	<b>同業者との交流を通じた向上</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	協議会への参加、同業者との交流をしています。	
21	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	相手の事を考慮しつつ、言葉かけをしています。	言葉を口にする時は、心の余裕を忘れないようにします。
22	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	何事にも、意欲的に取り組めるように、気付きの質を高めています。	(心を動かす)つながりを意識した言動に、心がけています。
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ホーム見学時等、本人、家族から話を聞くと同時に、何回も足を運んでいただき、情報交換の場を多く持つようになっています。	
24	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	話し合いの機会を多く持ち、いつでもどのような事でも、相談を受けとめられるようになっています。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	積極的に方策を考えます。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族の意向を踏まえ、利用者様が現在どのようなレベルかを、十分把握、確認した上で、対処方法を考えます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	気楽に会話が出来よう、特に食事時はテレビを消し、自由に会話出来る雰囲気作りをしています。季節ごとの行事、料理等学ぶ事も多く、利用者それぞれ、人生で身につけた物を知り学び、それを施設の中に生かせる様にしています。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	常に情報交換に努め、よい関係を保ち、対等な関係を築いていきたい。外出、外泊など家族との交流、家族の持っている力を知る事で、施設に活かせる様にしています。		外出、外泊などご家族様との交わり、ご家族様の持っている力を知る事で、施設に活かせるようにしていきたいです。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	来訪されたという確認出来る、面会簿、個別のメッセージノート、家族写真撮影等、つながりを感じとれる物をつくっています。		常に、ご家族様との接点を、作っていきたいです。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	橋渡しの役に、努めています。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	時々席変えをしたりし、環境を変えることでお互いに助け合い、話しかけ等で理解しあえる様支援しています。		仲間に入る事が出来ずに、スタッフの側から離れずスタッフが、独占状態になる事も多く、他のご利用者様に平等に、介護出来る様心がけたいです。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	状況確認、気配りに、力を尽くしています。		訪問や、通信等で関係を続けています。
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員全員で一人ひとりの思い、心理状態等把握し、本人の世界での物の見方考え方を見出せるよう努めています。		意志疎通がうまくキャッチ出来る様に、心がけていきたいです。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	見過ごした点はないか等、慣れてしまう事の危険に、気を配っています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	職員は常に入居者を見守りやすい場所に位置し、一人ひとり一日の暮らしぶりを見守っています。料理中も対面式になっており、いつでも目が届く様にしています。		出来る事、出来ない事の判断が、正しく行なう事が出来る様にしていきます。
)				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	全ての職員で定期的に(緊急性のある場所はその都度)会議を開催し、活発に意見交換を行ない、合意を図っています。月に一度、第3木曜日と定め行なっています。必要に応じて家族も参加してもらっています。		月に一度、第3木曜日と定め行なっています。欠席者は、ミーティングノートにて、意見を書いたの参加となっています。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画に実施期間を明記し、その期間が終了する際に、見直しすると同時に、状態の変化に応じた、随時の見直しを行なっています。介護計画は2ヶ月、6ヶ月とプランを立てて、毎月見返しています。		介護計画2ヶ月、6ヶ月とプランを立てて毎月見返しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の介護や介護計画を反映させる為に、入居者一人ひとりの特徴や変化を具体的に記録しています。業務日誌、個人記録に日勤、夜勤と色別して記入しています。受診ノートも作成しその都度注意事項等記入しています。必要に応じて家族にも目を通してもらう事もあります。介護計画の見直しにも活かしています。カンファレンスノートも、伝達事項を細かく記入し、確認後サインをし、確認合っています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	その時々々の状況の変化に合わせた対応を行なっています。通院介助、地域での行事の参加を、積極的に行なっています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の行事には、積極的に参加しています。ボランティアも幅広く美容師、カラオケ、折り紙、傾聴、手品師等利用者楽しみにしています。ご家族様の行事参加も呼びかけています。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じての支援をしています。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要性が生じた場合、アドバイスを受けます。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々にかかりつけ医に受診し、基本的には家族通院だが、都合のつかない時は、スタッフ通院介助しています。		健康診断は、ご家族様の協力を得て、一緒に受診していただいています。



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知に関する診断や治療、対応方法等、その都度状態に合わせた指示、助言をもらえる医師を確保しています。救急時の対応にも応じて頂き、スタッフも不安なく早急に対応する事ができます。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	少しの不安材料でも、気軽に伝言をし、指示助言を得ています。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	常に主治医、ご家族様と連絡を取り合い、お互いに不安のない状況にいられるよう細かな情報交換を行なっています。ご家族様にも協力を得て、お互いに細かな情報交換を行なっています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	文章にし、いざという時に慌てない様、対応しています。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ホームでの対応がどこまで可能かを、充分職員同士で話し合い、ご家族様、主治医とも話し合いを持ちながら、支援しています。		
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人、家族共に納得できる様、充分話し合い対応している。スタッフも他施設等へ移る際は、一緒に同行、確認し、共に安心した形で退居できるよう支援しています。ホームから紹介し、他施設へ移る事が多く、安心して退居出来る様、支援しています。本人の近況を先方に、詳細に報告しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者一人ひとりの違いの尊重、さりげない介助、プライベートな場所での礼儀、本人の返答能力に応じた質問方法、本人が思っている現実を、否定しない等配慮しています。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>日々の会話の中から探り出し、自己決定の支援を行なっています。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一日の流れに沿って、本人の意志を確認し、スケジュールを立て行なっています。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>一人ひとりに個性、希望、生活習慣を重んじて、個別に支援しています。本人の好みや持っている力を、充分生かせる様支援しています。美容師に月1度訪問整髪してもらっています。古くなった物でも、思い出の品との事で、大事に取り扱っています。美容師の一ヶ月毎の来訪にて、カット、カラーを行なっています。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>出来る範囲での、自立支援を心がけ、個々にあった作業を、お願いし、得意な分野で力、やる気を発揮できるよう援助しています。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>健康増進法の推進に心がけています。入浴後の水分補給では、ヤクルト、フルーツジュース等人気があり、楽しみにしています。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄リズムを個々に把握し、トイレ誘導すると同時に、食事前は必ず全員の排泄の、声かけを行ない、落ち着いて食事が出来る様に、習慣付けています。		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者一人ひとりの希望に合わせ、くつろいだ入浴が出来るように支援しています。(時間帯、長さ、湯加減等)目や香りでも楽しめるよう、入浴剤にもこだわり、季節に合わせた物を使っています。又、入浴表も自分達で作った、季節を感じられるシールを貼ったりしています。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼食タイムを設け、静かな環境づくりをしています。アンカ、電気毛布等の使用も、個々の希望にあわせています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホーム内で入居者一人ひとり、楽しみ事や、出番を見出せる様、場面作り等支援を行なっています。朝の掃除、庭いじり、食器洗い、食事の下ごしらえ、洗濯物たたみ等、日常的に行なっています。毎日の日課として、楽しみながら行なう様にしています。手足を動かす事で、適度なりハビリにもなっています。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	だいぶ金銭感覚が薄れ、小銭の計算も出来なくなってきましたが、好きな物を買ってもらい、お財布から、直接お金を払いおつりをもらう事で、忘れないようにと、見守っています。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お天気の良い日は、出来るだけ外出(散歩)を心がけています。外出ノートを作成し、出来るだけ、順番に出かける事ができるように、支援しています。近くのスーパーへの買出しには、出来るだけ利用者様と一緒にいくようにしています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	積み立てをし、年に何回かご家族様にも声をかけ、介護タクシーを利用して、遠出を楽しんでいます。		多くのご家族様の参加が、得られるように日程等考慮し、一緒に楽しんで頂けるよう、支援してまいります。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	FAX、電話の取次ぎ、手紙のポストイン等の支援をしています。不穏時、ご家族様への声かけで、落ち着く事もあり、協力を得ています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	親しみの持てる間柄(つながり)を、持つようにしています。面会ノート、メッセージノート(個別のもの)等で、ご家族様が確認される事も多いようです。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行なわないと言う事を、全ての職員が正しく認識しており、身体拘束のないケアを実践しています。今までにも、身体拘束をした事もなく、言葉による拘束にも、充分注意しています。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	街中にあり交通量が多く、危険なので施錠しています。ご家族様にも、理解を得ています。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に背を向けることな、く利用者に目が届く様料理、書き物等する時にも、気をつけています。利用者のちょっとした変動、サインを見落とす事のない様、職員同士の申し送り等、詳細に行なっています。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬、洗剤、包丁等注意の必要な物品については、保管場所等明確にし、利用者には目の届かない場所としています。又、ハサミ、針等の使用後は、必ず本数をチェックしています。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	消防隊員からも指導を受け、慌てる事がないよう、マニュアルも作成し対応しています。		

項 目		( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当の講習も受け、落ち着いて対応できるよう、心がけています。	
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	半年に一度、避難訓練等行なっています。	
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	話し合いを持ち、理解を求め、対応等に違いがないかを、常に確認しあっています。ケアプランにも掲載し、同意も得ています。	
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	すぐ主治医に連絡を取り、指示を仰ぎ、出来るだけ日勤帯での早い対応を、心がけています。一人ひとりの普段からの様子を、良く知っておく事が、重要と考えています。	
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別のサービス提供表にファイルし、それぞれの体調変化の早期発見に努めています。処方薬変更時には、詳細説明を行なっています。	
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	なるべく便秘薬頼らず、おやつ、食事等で、繊維質な食材を使用するように、配慮しています。	
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	月に2回訪問歯科クリニックにて、口腔ケアを行なっています。夜間は入れ歯を預かり、ポリデント洗浄しています。一日一回全員の歯磨きチェックを行ない、歯間ブラシも使用しています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量が、一目で分かる様なチェック表を作成し、毎月体重測定し、増減を主治医に報告し、指示を仰いでいます。水分確保には、おやつにシャーベット、ゼリー等で工夫しています。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザの予防接種は利用者、職員全員摂取。食事前の消毒は、欠かさず行なっています。感染症に関する指示を、主治医から、もらっています。外来者にも消毒を行なうよう、協力を得ています。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	魚屋さん契約し、新鮮な物を届けてもらっています。料理専門スタッフも加わり、台所全般の管理を行なっています。(野菜は特に産地直送に心がけている)夜勤帯にて冷蔵庫、まな板、タオル等、毎日きちんと消毒を行なっています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	入り易い様に、家庭的な雰囲気作りに配慮しています。季節の花を植え、テーブル、椅子を配置し、癒しの空間を作っています。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビ音や片付け音は気をつけています。明るさは、カーテン及び室内灯で、対応しています。窓の外にも、季節の花を植え、壁にも、利用者手作りの季節の作品を、飾っています。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファを2台設置し、ゆっくりとくつろげる空間作りをしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には使い慣れた家具、生活用品、装飾品等を持ち込み、安心して過ごせる場所になっています。置き場所に配慮し、危険でなければ、季節ごとの物等、自由に持ち込んでもらっています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	床暖房にて調整し易く危険も少ない、湿度については窓の開閉をこまめに行い、濡れタオル等かけて乾燥を防いでいます。一ヶ月ごとに、業者による臭い通りの交換も、実施しています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの取り付け場所、位置等充分考慮し、安全面を計っています。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	今の自分に出来ること、進んで喜んで体を動かす等の、個別対応での支援を、行なっています。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダにて利用者と一緒に、花屋で季節の花選びから、植え替え等行なっています。天気の良い日は、外でお茶を楽しむ事も、多くあります。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	



項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、活き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

オープン当時より玄関に掲げている(今からここから)の言葉の通り出発でもあります。看板の雲マーク、パンフレットの気球とあわせて全員力をあわせ毎日流れていく雲の流れに沿って緩やかに時を過ごせるようにと常にスタッフ一同心に刻んでいる。ご家族からの支援を重要視しながらここで暮らせて良かったという言葉へと到達できることを望む。MOMOの生活が利用者にとって、家族にとって幸せと言って頂ける様、本人らしさを尊重し一日一日を大切に過ごしていただける様支援している。